

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
11時32分37秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040000	男女共同参画室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00160	男女共同参画プラン推進事業							
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり							
節	03	男女共同参画のまちづくり							
細節	10	男女共同参画社会の実現							
予算事業	10156	01	02	01	24	03	01	01	男女共同参画プラン推進事業（男女共同参画費）
所属長	杉 公子				担当者（内線）	柴野 勝俊（2241）			
根拠法令等	男女共同参画社会基本法／吹田市男女共同参画推進条例／すいた男女共同参画プラン								
事業開始年度	平成6年度	直近の改正		平成28年度					
改正内容	担当部名の変更								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民及び事業者		
目標	男女共同参画社会の形成に関する取組を総合的かつ計画的に推進する。		
結果	男女が対等な社会の構成員としてあらゆる分野に参画し、その能力や個性を発揮できる男女共同参画社会の実現を図る。		
事業概要	男女共同参画推進条例に基づき策定した男女共同参画プランの推進を図ると共に、男女共同参画施策の進捗状況を把握し、分析・評価する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,550	766	817	307	1,280
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
総事業費(A+B)	9,720	8,666	8,869	8,130	9,225
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	9,720	8,666	8,869	8,130	9,225
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,720	8,666	8,869	8,130	9,225
財源計(C+D)	9,720	8,666	8,869	8,130	9,225

所属	男女共同参画室
事務事業番号	00160

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	男女共同参画審議会の開催回数	回	目標値	6.00	8.00	4.00
			実績値	6.00	8.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	目的達成のために必要な回数。平成29年度はプラン策定の諮問を行った。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,444.33	1,016.25	
			一般財源(千円)	1,444.33	1,016.25	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「男女がともに個性や能力を発揮できている社会になってきている」と思う市民の割合	%	目標値	40.00	40.00	40.00
			実績値	30.80	30.80	
			達成度(%)	77.00	77.00	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施、前回平成26年度実施)をもとに今後の増加をめざし設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	281.36	263.96	
			一般財源(千円)	281.36	263.96	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	審議会等委員における女性の割合	%	目標値	40.00	40.00	40.00
			実績値	34.50	35.40	
			達成度(%)	86.30	88.50	
目標値の積算方法	審議会等の運営状況に関する調査(毎年度)をもとに男女同数をめざし設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	251.19	229.66	
			一般財源(千円)	251.19	229.66	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	男女共同参画社会の形成は短期的に実現できるものではなく、市民や事業者に対し継続的に意識啓発等の事業を重ねていく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	男女共同参画室	事業名	男女共同参画プラン推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00160				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点

所属名	男女共同参画室	事務事業番号	00160
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>男女が共に性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現には、「すいた男女共同参画プラン」の推進が不可欠である。</p> <p>男女共同参画の推進に関する施策の実施状況等について報告書を作成し、効果的な分析・評価ができるよう努め、男女共同参画の推進に関する事項を調査、審議するため男女共同参画審議会を開催している。</p> <p>男女共同参画社会の形成については、短期的に実現することは難しいため、市民や事業者に対し継続的に意識啓発等の事業を実施することが必要であるが、実施手法や内容については、男女共同参画に関連する法律等、社会の情勢や国際的な動向を考慮し検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

<p>国が策定している「男女共同参画基本計画」や大阪府が策定している「おおさか男女共同参画プラン」との整合性を図る。</p>
--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
11時34分28秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040000	男女共同参画室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00161	啓発事業							
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり							
節	03	男女共同参画のまちづくり							
細節	20	男女共同参画に向けての意識改革							
予算事業	10157	01	02	01	24	03	02	01	啓発事業（男女共同参画費）
所属長	杉 公子			担当者（内線）	紙谷 裕子（2241）				
根拠法令等	男女共同参画社会基本法／吹田市男女共同参画推進条例／すいた男女共同参画プラン								
事業開始年度	平成6年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	担当部名の変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民及び事業者		
目標	男女共同参画社会の実現をめざし、市民及び事業者に対して啓発及び情報提供等を行い、男女共同参画社会に向けての意識改革を図る。		
結果	男女が対等な社会の構成員としてあらゆる分野に参画し、その能力や個性を発揮できる男女共同参画社会の実現を図る。		
事業概要	①男女共同参画社会の実現に向けての意識啓発・情報提供のために、啓発冊子等を発行する。 ②隔年で「女と男のフェスタ」を開催し、男女共同参画社会の実現に向けての啓発を実施。実行委員会形式。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	女と男のフェスタ in すいた実行委員会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	開催、運営に関する事項
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	685	333	1,504	741	671
人件費職員数(人)	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	6,536	6,320	6,442	6,259	6,356
総事業費(A+B)	7,221	6,653	7,946	7,000	7,027
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	7,221	6,653	7,946	7,000	7,027
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,221	6,653	7,946	7,000	7,027
財源計(C+D)	7,221	6,653	7,946	7,000	7,027

所属	男女共同参画室
事務事業番号	00161

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	女と男のフェスタ参加者数	人	目標値	0.00	400.00	0.00
			実績値	0.00	367.00	
			達成度(%)	0.00	91.80	
目標値の積算方法	会場規模(平成29年度変更)を考慮した。隔年で実施のため、平成28、30年度は目標、実績は空欄とする。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	19.07	
			一般財源(千円)	0.00	19.07	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市内事業所アンケートにおける正規従業員に占める女性の割合(業種を変えて毎年調査)	%	目標値	0.00	0.00	42.70
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	府内正規従業員に占める女性の割合(大阪府労働力調査地方集計結果)若しくは前年度実績を下回らないように設定する。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	社会全体として男女の地位は平等になっていると思う市民の割合	%	目標値	30.00	30.00	30.00
			実績値	20.20	20.20	
			達成度(%)	67.30	67.30	
目標値の積算方法	男女共同参画に関する市民意識・実態調査(5年に1回実施、前回平成27年度実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	329.36	346.53	
			一般財源(千円)	329.36	346.53	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市内中学2年生対象啓発冊子「エール」の配布校	校	目標値	21.00	21.00	21.00
			実績値	21.00	21.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	市内中学校数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	316.81	333.33	
			一般財源(千円)	316.81	333.33	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	毎年業種を変えて市内事業所に対して男女共同参加の取り組みについてアンケートを実施している。今回から指標に加え設定したため平成28、29年度の目標値及び実績値は空欄とする。	目標	男女共同参画に関する認識や理解を深め、定着させる。
成果内容	「エール」は市民スタッフと協働で作成し、早い時期から男女共同参画社会について意識啓発するために配布しているため、新たに成果指標とし平成28、29年度の目標値及び実績値は空欄とする。	達成状況	市内中学校全校へ配布する

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画に関する認識やその意義に対する理解を深め、定着させるための広報・啓発活動を積極的に展開する必要がある。男女共同参画施策の市民向け発信記事として毎年市報すいた6月号、11月号の特集である「女と男のいきいきライフ」を参画スタッフと協働で作成し、市内中学2年生を対象とした啓発冊子「エール」を配布し、「DV防止啓発パンフレット」を発行するなど、様々な機会をとらえて啓発事業を続けている。また、これまで隔年で開催している「女と男のフェスタ」は、啓発事業としてより効果的な手法を検討しながら今後も事業を継続していく必要がある。社会・経済環境が大きく変化する中で、すべての人が性別にかかわらずいきいきと活躍し、安心して暮らすことができる豊かなまちを目指すためには、市、市民、事業者、地域、学校と連携して推進する必要がある、その手段として啓発が非常に有効である。		

事務事業分析シート

所属名	男女共同参画室	事業名	啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00161				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞前等には速やかに適正な措置を講じており、取組率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	男女共同参画室	事務事業番号	00161
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>男女共同参画に向けての意識改革を図るために、市報すいたや報告書、事業所に対する実態アンケート調査等の媒体を用いて市民及び事業者に対して啓発活動を行っている。今後も男女が対等な社会の構成員としてあらゆる分野に参画し、その能力や個性を発揮できる男女共同参画社会の実現のために、関係機関と連携し息の長い啓発活動が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年8月に、女性の採用・登用・能力開発等のための事業主行動計画の策定を事業主に義務付ける、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)が成立した。性別に関わりなくすべての個人がその個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現は、少子高齢化が進み、人口減少社会に突入した国にとって、社会の多様性と活力を高め経済が発展していく観点や、男女間の実質的な機会の平等を担保する観点から極めて重要であり、社会全体で取り組むべき最重要課題である。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
11時35分38秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040000	男女共同参画室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00162	DV防止対策事業		
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり		
節	03	男女共同参画のまちづくり		
細節	50	女性に対するあらゆる暴力の根絶のための基盤づくり		
予算事業	10167	01	02	01
所屬長	杉 公子	24	06	01
根拠法令等	男女共同参画社会基本法／吹田市男女共同参画推進条例／すいた男女共同参画プラン			
事業開始年度	平成25年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	担当部名の変更			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民及び事業者		
目標	女性に対する暴力とDVの根絶		
結果	DV被害者の保護及び自立支援を促進するとともに、加害者を作らない社会を実現する。		
事業概要	配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等のため、「予防」、「発見」、「支援」、「フォロー」の4つの視点から効果的な事業を推進しており、被害者支援や、パンフレットの作成など様々な啓発活動を実施している。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	815	583	764	462	760
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	15,646	15,890
総事業費(A+B)	17,155	16,383	16,868	16,108	16,650
特定財源(C)	300	249	300	203	224
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	300	249	300	203	224
市負担(D)	16,855	16,134	16,568	15,905	16,426
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	16,855	16,134	16,568	15,905	16,426
財源計(C+D)	17,155	16,383	16,868	16,108	16,650

所属	男女共同参画室
事務事業番号	00162

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	内外の関係機関と連携してDV被害者に対し相談、支援、身体保護等にあたる。さらに配偶者による暴力防止のための市民に対する意識啓発を行う。	目標	配偶者暴力を防止するとともに、被害者の自立を支援することを含め、その適切な保護を図る。
成果内容	相談者、同伴家族の安全、心身の安定確保、生活再建のための様々な相談、支援を行った。	達成状況	相談者の置かれた状況に応じて適切な相談、支援を行うことにより、暴力被害を抑え、自立した生活再建へ踏み出すことができた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	今後も配偶者暴力による被害者の保護と継続した自立支援及び予防啓発に取り組むとともに、吹田市DV防止ネットワーク会議の有効的な活用により内外の関係機関との連携の強化を図る必要がある。目標とする効果が出ており、「暴力のない、安心安全なまちすいた」の実現のためには今後も事業の継続が必要である。

事務事業分析シート

所属名	男女共同参画室	事業名	DV防止対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	00162				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	男女共同参画室	事務事業番号	00162
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組 <input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組 <input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	
(3)現状分析	<p>DVの相談体制の充実を図るとともに予防啓発に努め、男女共同参画センターのDV相談(カウンセリング)と連携し、「フォロー」にも力を入れている。</p> <p>また、DVの防止及びDV被害者の保護・支援を総合的かつ円滑に行うために関係機関等のネットワークを構築し、DV防止対策の推進を図ることを目的とした吹田市DV防止ネットワーク会議を設置している。最近では男性被害者からの相談も増加しており、男性被害者への相談体制を検討する必要があると考える。</p>

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
11時36分53秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040000	男女共同参画室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00163	ダブルリボンプロジェクト基金積立事業							
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり							
節	03	男女共同参画のまちづくり							
細節	50	女性に対するあらゆる暴力の根絶のための基盤づくり							
予算事業	11441	01	02	01	32	01	01	01	ダブルリボンプロジェクト基金積立事業（ダブルリボンプロジェク
所属長	杉 公子		担当者（内線）紙谷 裕子（2241）						
根拠法令等	男女共同参画社会基本法／吹田市男女共同参画推進条例／すいた男女共同参画プラン／吹田市積立基金条例								
事業開始年度	平成25年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	担当部名の変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	ダブルリボンプロジェクト基金積立		
目標	Wリボンプロジェクトを円滑に行うための貴重な財源として積み立てる。		
結果	Wリボンプロジェクトの実現を目指す。		
事業概要	Wリボンバッジの売上金の一部及び寄附金等をダブルリボンプロジェクト基金に積み立てる。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,585	2,809	1,389	1,554	1,377
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,565	1,589
総事業費(A+B)	3,219	4,389	3,000	3,119	2,966
特定財源(C)	1,585	1,562	1,389	1,554	1,377
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	1,585	1,562	1,389	1,554	1,377
市負担(D)	1,634	2,827	1,611	1,565	1,589
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,634	2,827	1,611	1,565	1,589
財源計(C+D)	3,219	4,389	3,000	3,119	2,966

所属	男女共同参画室
事務事業番号	00163

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	Wリボンバッジの販売個数 (平成29年度は、2月から12月末) (平成30年度以降は、1月から12月末)	個	目標値	3,000.00	2,000.00	2,000.00
			実績値	1,938.00	1,370.00	
			達成度(%)	64.60	68.50	
目標値の積算方法	前年度実績を下回らないことを目標として設定。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.26	2.28	
			一般財源(千円)	1.46	1.14	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ダブルリボンプロジェクト基金指定寄附件数	件	目標値	60.00	65.00	68.00
			実績値	68.00	46.00	
			達成度(%)	113.30	70.80	
目標値の積算方法	過去の実績を下回らないことを目標として設定。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	64.54	67.80	
			一般財源(千円)	41.57	34.02	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	Wリボンバッジの販売収益のうちの積立額 (平成29年度は、2月から12月末) (平成30年度以降は、1月から12月末)	円	目標値	582,000.00	388,000.00	376,000.00
			実績値	345,972.00	228,406.00	
			達成度(%)	59.40	58.90	
目標値の積算方法	バッジ販売個数の目標値に基づき設定。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.01	0.01	
			一般財源(千円)	0.01	0.01	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ダブルリボンプロジェクト基金指定寄附金額	円	目標値	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00
			実績値	1,547,034.00	1,268,098.00	
			達成度(%)	154.70	126.80	
目標値の積算方法	指定寄付金については時々の経済状況等による増減が大きいことから、一定の金額を下回らないことを目標として設定。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	DVや児童虐待など暴力をなくすために実施している「Wリボンプロジェクト」を地域や企業と連携して、さらに発展させて「暴力のない安心安全なまち、すいた」の実現のための財源として設置し、Wリボンバッジの売上金の一部のほか、企業や市民からの協賛による寄附金なども積み立てている。現在、基金を財源とした事業は啓発がメインとなっているが、男女共同参画センターや児童部とも協力し、財源を有効活用できる方策について課題を整理したうえで検討していく必要がある。吹田市においても残念ながらDVや児童虐待など年々相談件数が増加していることを考えると、DVにおいては予防、発見、支援、フォロー、児童虐待においては早期発見、早期対応、再発防止に向けた取組の貴重な財源として今後も継続していく必要があると考える。

事務事業分析シート

所属名	男女共同参画室	事業名	ダブルリボンプロジェクト基金積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00163				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	男女共同参画室	事務事業番号	00163
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市では、DVと児童虐待が密接に関連していることを認識し、DV防止対策と児童虐待防止対策を一体として進めていかなければならないと考え、あらゆる暴力の根絶を目指し「ワリボンプロジェクト」を実施している。地域や企業と連携し、「暴力のない安心安全なまち、すいた」の実現に向けてDV防止対策事業等の取り組みを行い、その財源確保のためダブルリボンプロジェクト基金を設置している。現在、基金を財源とした事業は啓発がメインとなっているが、男女共同参画センターや児童部とも協力し、財源を有効活用できる方策について課題を整理したうえで検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
11時38分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004040000	男女共同参画室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01403	男女共同参画プラン策定事業							
章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり							
節	03	男女共同参画のまちづくり							
細節	10	男女共同参画社会の実現							
予算事業	11515	01	02	01	24	03	01	02	男女共同参画プラン策定事業（男女共同参画費）
所属長	杉 公子				担当者（内線）	柴野 勝俊（2241）			
根拠法令等	男女共同参画社会基本法／吹田市男女共同参画推進条例／すいた男女共同参画プラン								
事業開始年度	平成6年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	担当部名の変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民及び事業者		
目標	男女共同参画推進条例に基づく男女共同参画プランの次期プランを策定し、男女共同参画の推進を図り、男女共同参画社会の実現をめざす。		
結果	男女が対等な社会の構成員としてあらゆる分野に参画し、その能力や個性を発揮できる男女共同参画社会の実現を図る。		
事業概要	男女共同参画推進条例に基づく具体的な行動計画である「すいた男女共同参画プラン（次期計画）」を策定する事業である。5年の計画期間のうち3年目に市民意識調査、4年目に庁内ヒアリング、5年目に実際の計画立案の作業を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	522	382	2,015	1,480	0
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	7,823	0
総事業費(A+B)	8,692	8,282	10,067	9,303	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	8,692	8,282	10,067	9,303	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,692	8,282	10,067	9,303	0
財源計(C+D)	8,692	8,282	10,067	9,303	0

所属	男女共同参画室
事務事業番号	01403

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	男女共同参画審議会の開催回数	回	目標値	6.00	8.00	0.00
			実績値	6.00	8.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	平成29年度に第4次すいた男女共同参画プランを策定したため、平成30年度はプランの策定を目的とした審議会の開催は設定せず	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,380.33	1,162.88	
			一般財源(千円)	1,380.33	1,162.88	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	第4次男女共同参画プラン策定に当たり、男女共同参画審議会にプランの策定を諮問する。	目標	第4次すいた男女共同参画プランを策定する。
成果内容	計8回の審議会を開催し、プランの策定を行った。	達成状況	第4次すいた男女共同参画プランを策定した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	平成29年度に計画期間を平成30年度から平成34年度とした第4次すいた男女共同参画プランの策定を行った。 平成30年度からは、「男女共同参画プラン推進事業」において第4次プランで策定した施策の推進を図り、次期プランの策定を視野に進捗状況の把握を行う必要がある。		

事務事業分析シート

所属名	男女共同参画室	事業名	男女共同参画プラン策定事業	事業区分	その他
事務事業番号	01403				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	男女共同参画室	事務事業番号	01403
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成29年度に計画期間を平成30年度から平成34年度とする「第4次すいた男女共同参画プラン」の策定を行った。</p> <p>今後は、「男女共同参画プラン推進事業」において当該プランにおいて策定された施策の推進を図り、その進捗状況を把握していく。</p> <p>第5次プランの策定に向けて施策の進捗状況の把握に努め、中間年にあたる平成32年度に市民意識・実態調査を実施し、次期プラン策定の礎となるデータの蓄積を行っていく。</p> <p>これまでに4回、市が直営でプランの策定を行ってきたが、男女共同参画に関連する新たな法律の施行や施策の実施に伴い、プランに反映すべきデータや策定する施策の増大、複雑化が見込まれるため、プランの策定においてコンサルへ等への業務委託の検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国が策定している「男女共同参画基本計画」や大阪府が策定している「おおさか男女共同参画プラン」との整合性を図る。